

1 概況

知多地区の多くの漁場と西三河地区全域で、1回目の摘採が開始され、早い人は1回目の摘採を終了しました。水試プイの観測水温は、平年と比べて約0.3℃高く、一方で、漁業生産研究所観測の水温は約0.9℃低くなっています。栄養塩は、知多半島東岸地区を除いて十分量あります。潮位は予測値よりも低いレンジで乱高下していますので、留意して下さい。カモや魚類による食害の報告が増加していますので、防除網の設置などの対策に努めてください。あかぐされ病の報告はまだありませんが、水温が高いと蔓延しやすいので、水温の動向に留意しつつ、早期摘採や適正干出等の網管理に努めてください。

2 気象・海況

<水温> 11月29日			<水温> 11月30日			<潮位偏差> 11月29日		
2～3号 プイ平均 (-3.5m)	日平均水温	15.1℃	漁生研 (-3.0m)	10時水温	15.7℃	名古屋港	5日平均*	-10 cm
	平年差	+0.3℃		平年差	-0.9℃		偏差	-10 cm

※11月25日～11月29日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	多い～やや多い	なし	植物プランクトンはほとんどいない
知多東岸地区	やや少ない～少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない～散見
西三河地区	多い	なし	植物プランクトンはほとんどいない～散見
東三河地区	多い	なし	植物プランクトンはほとんどいない

※基準(単位: μg/L) 多い:121～、やや多い:81～120、やや少ない:41～80、少ない:～40

※植物プランクトン基準(単位:細胞/mL) 多い:10,000～、やや多い:5,000～10,000、少ない:1,000～5,000、散見:100～1,000、ほとんどいない:～100

(気象庁予報より 予報期間:12月1日～12月6日)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、期間の前半は平年より低い日が多いですが、期間の後半は平年より高い日が多い見込みです。
-------	--

3 養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病・障害	その他
知多西岸地区	0～1回	300～500	概ね良好	魚、カモ	目立った病害はみられない	北部と南部は海況良好、中部は濁りあり
知多東岸地区	0～1回	150～290	まずまず	魚、カモ	なし	海況まずまず
西三河地区	0～1回	100～500	まずまず	魚、カモ	なし	海況良好
東三河地区	0回	-	-	不明	なし	葉長は5cm超

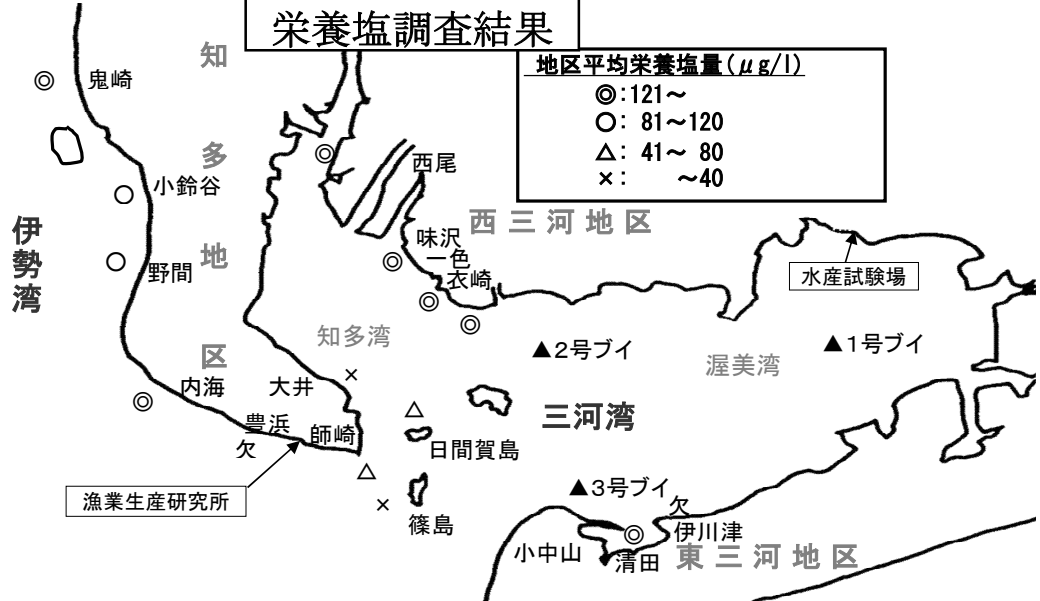
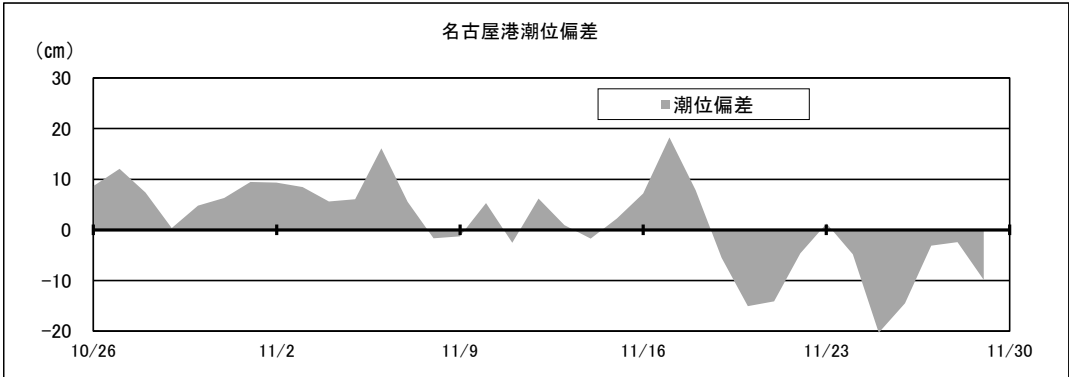
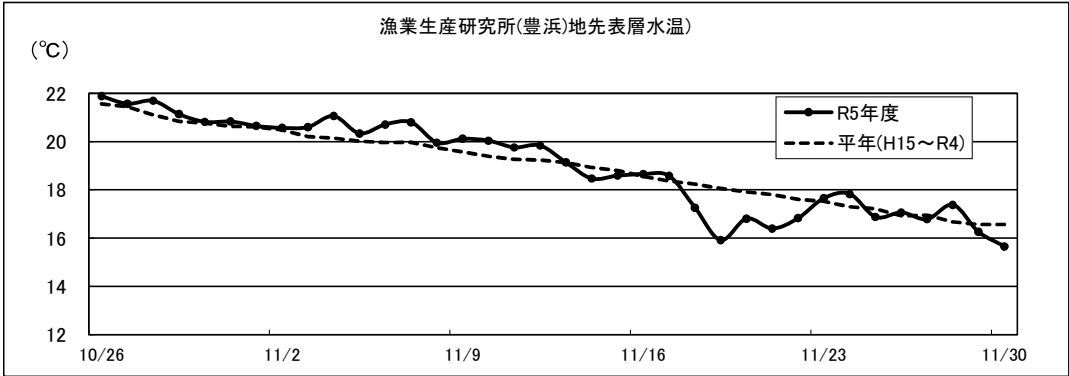
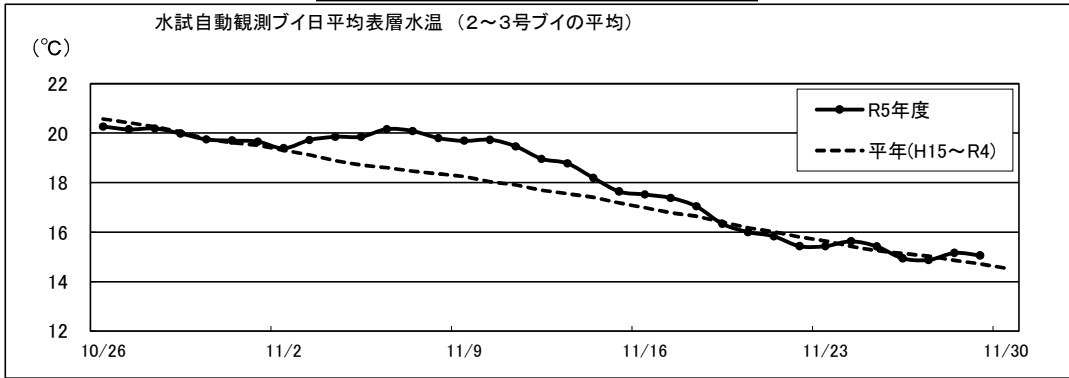
4 今後の管理

- ① 病害による被害防止と製品の品質向上のため、早期摘採、適正干出及び酸処理などの網管理に努めること。
- ② 食害が発生している漁場では、防除網等の対策に努めること。
- ③ 製品の選別を厳しく行うとともに、異物の検査など衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測プイ情報」は、インターネット上で閲覧することができます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。**アドレス**: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ 次回は12月7日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日: 知多、西三河: 11月30日(木)、東三河: 11月29日(水)
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会